



未来に向けた都市デザイン 都市の「声」をデザインする

登壇者

音環境デザイナー | 作曲家 | ピアニスト | 音育家

小松正史

KONTRAPUNKTクリエイティブディレクター

ポー・リンネマン

東大阪市長

野田義和

2017年 | 月 | 日 | 土 |

13:30-17:00

近畿大学 東大阪キャンパス

アカデミックシアター1F

実学ホール(2号館)

 **KINDAI**
DESIGN LAB

文化デザイン学科 | 近大デザインラボ



ゲストスピーカー

Bo Linnemann ボー・リンネマン

クリエイティブディレクター、建築家、コントラプンクトデンマーク・東京共同設立者。デンマーク王立芸術アカデミー建築学校にて建築の教育を受けた後、主に国際的な企業のデザインやブランドアイデンティティ、ブランドタイプフェイスのデザインに従事し、80年代より世界のデザインシーンに影響を与え続けている。デンマークデザインアワードを17回受賞した他、数多くの国際的なデザイン賞の受賞歴を誇る。1985年コントラプンクトを共同設立。デンマークの多くの官公庁や国際的な企業の多岐に渡るブランディングを手がけ、2011年と2016年にCreative Circleからベストデザインエージェンシー賞を受賞している。母校である王立芸術アカデミーでも教鞭をとり、2006年には武蔵野美術大学客員教授を務めた。

主な実績に、デンマーク官公庁・国鉄、Danske Bank、Microsoft、IKEA、大日本印刷、Adidas、国連グローバルコンパクト、Carlsberg、LEGO、Coca-cola、TASAKI、Novo Nordiskなどがある。
<http://www.kontrapunkt.com>



小松正史

京都精華大学人文学部教授。音環境デザイナー・作曲家・ピアニスト・音育家。明治大学大学院農学研究科博士前期課程(農業経済学)を修了した後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程(作曲)修了、大阪大学大学院工学研究科後期課程(環境工学)を修了。博士(工学)。学問の専門分野は音響生態学、五感環境学、環境心理学。伊根浦、箕面市、京都市、近江八幡市などでサウンドスケープをめぐる数々の精緻な実践・研究を行い、独自の「技法」を洗練させ、シェーファーが提唱した「サウンドスケープ・デザイン」という概念をよりアクチュアルな概念に練り上げる。音楽家としてはBGMや環境音楽を作曲し、ピアノ演奏も行う。河瀬直美監督の映画作品をはじめ、多数の映像作品に楽曲を提供している。また、京都タワーや京都国際マンガミュージアムをはじめとした公共空間の音環境デザインを手がけ、聴覚や身体感覚を研ぎ澄ませる音育(おといく)ワークショップも実践する。

著書に『賢い子が育つ耳の体操』(ヤマハミュージックメディア、2017年)、『みんなでできる音のデザイン』(ナカニシヤ出版、2010年)、『サウンドスケープの技法』(昭和堂、2008年)など、ピアノCDアルバムに『パークアンビエンス』(2016年)、『スクール・メモリーズ』(2016年)、『キョウトアンビエンス 3』(2016年)などがある。

<http://www.nekomatsu.net>

2017年11月11日(土)

13:30-17:00

近畿大学 東大阪キャンパス

アカデミックシアター1F

実学ホール(2号館)

2016年春に近畿大学文芸学部開設された新学科「文化デザイン学科」は、感性学、デザイン、プロデュースという三つの系の諸実践を相互にリンクさせ、知と文化の創発を目指すユニークな学科です。都市の「声」をモチーフとする本シンポジウムでは、「シティ・タイプフェイス(都市書体)」や「サウンドスケープ(音環境)」のデザインを実践する一組のゲストスピーカーをお招きし、感性×デザイン×プロデュースを軸としたこれからの都市デザインの可能性について多様な観点から考えます。

プログラム

13:30 開会の挨拶

13:40-14:40 レクチャー1

都市の「書体」をデザインする
ボー・リンネマン(コントラプンクト)

このレクチャーでは、北欧最大のデザインエージェンシー・コントラプンクトがこれまでに手がけた「ブランドタイプフェイス(書体)」や「コーポレートタイプ(企業書体)」のコンセプトについて解説するとともに、現在制作中である東大阪市の「シティタイプ(都市書体)」について報告し、視覚=イメージと都市の歴史とに焦点を合わせた都市デザインの可能性とその課題を見通します。

※文化デザイン学科、近畿大学理工学部、経営学部、東大阪市の共同研究「東大阪市ブランディングプロジェクト」の一環。

14:50-15:50 レクチャー2

都市の「サウンド」をデザインする
小松正史(京都精華大学)

「サウンドスケープ・デザイン」は、「人や自然の存在全体にまで配慮したトータル・デザイン」(『サウンドスケープの技法』)。このレクチャーでは、ピアノの演奏も交えて「サウンドスケープ・デザイン」の理論・実例・実践について解説し、バランスのとれた五感の活動と音響=イメージの配置とを軸とする都市デザインの可能性とその困難さに焦点を合わせます。

16:00-17:00 ディスカッション

ボー・リンネマン × 小松正史
× 文化デザイン学科
× 東大阪市長 野田義和 × 会場

日 時 2017年11月11日 | 土 | 13:30-17:00
会 場 近畿大学 東大阪キャンパス
 アカデミックシアターIF 実学ホール(2号館)
住 所 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
 近鉄大阪線「長瀬駅」から徒歩約10分
 近鉄奈良線「八戸ノ里駅」から徒歩約20分、
 バス約6分



問 合 会場に関するお問い合わせ
 アクト推進室 (06)6730-5880
予 約 下記googleフォームにてご予約ください。
<https://goo.gl/forms/fHlwjNfcbdiHT3Pn2>



※ご予約なしでもご入場いただけますが、
 満席の場合にご入場をお断りする場合があります。
 あらかじめご了承ください。

主 催 近畿大学文芸学部文化デザイン学科
 『東大阪の都市ブランド形成-デザインのアプローチによる』
 21世紀研究開発奨励金【共同研究助成金】

後 援 東大阪市

ベトナム戦争証跡博物館 壁画プロジェクトの全容



2017年

11月21日(火)

4限(15:00~16:30)AH

B館203教室



原画作者と総合プロデューサーのお二人を迎えて
解説していただきます。



沖谷 晃司 KOJI OKITANI 日本画家、創画会
1971年 金沢市生まれ
1995年 青垣2001年日本画展にて読売新聞社賞受賞
1997年 京都市立芸術大学美術学部大学院修了
1998年 花鳥画展大賞受賞(松柏美術館)
2009年 芦屋市立谷崎潤一郎記念館にて個展
2015年 大阪通天閣天井画「花園で遊ぶジャック図」



内本 年昭氏 TOSHIAKI UCHIMOTO 大阪府中学校教頭
1971年 大阪府生まれ
1995年 京都精華大学芸術学部卒業
2010年 大阪府優秀教職員表彰
2011年 文部科学大臣優秀教職員表彰

ベトナム戦争終結から42年を迎えた今夏、ホーチミン市にある戦争証跡博物館で繰り広げられた壁画プロジェクトを通じ、日本とベトナムの平和友好の壁画が完成し、披露式典が行われました。その全容を伝えると共に平和について改めて考えるきっかけになればと思います。当日、あの元結合双生児で生まれたグエン・ドク氏からの平和メッセージが予定されています。(コーディネーター 文化デザイン学科教授 西野昌克)